



# 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 スガイ化学工業株式会社

コード番号 4120 URL <http://www.sugai-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永岡雅次

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 武田晴夫

TEL 073-422-1171

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,064	△17.7	193	272.4	132	154.1	79	—
22年3月期第2四半期	3,723	8.4	52	—	52	—	△322	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.83	—
22年3月期第2四半期	△23.52	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	10,322	5,135	49.8	374.81
22年3月期	10,989	5,128	46.7	374.28

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,135百万円 22年3月期 5,128百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	△5.4	260	53.9	155	△25.1	80	—	5.84

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 13,730,000株 22年3月期 13,730,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 27,488株 22年3月期 27,010株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 13,702,853株 22年3月期2Q 13,704,181株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]P. 2[1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の当社を取り巻く経済環境は、昨年度後半以降、持ち直しの兆しが見え出したものの、欧米の景気減速懸念や急激な円高の進行により先行きが不透明となり、今後の景気悪化に対する懸念が急速に強まりつつあります。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間における当社の営業は、国内売上高は1,775百万円と前年同期(1,654百万円)に比べ120百万円(7.3%)の増収となりました。これは、医薬中間物は減少しましたが、農薬中間物及び機能性中間物が増加したことによるものです。

一方、輸出売上高は1,289百万円と前年同期(2,069百万円)に比べ779百万円(37.7%)の減収となりました。これは、医薬中間物及び農薬中間物が大幅に減少したことによるものです。

この結果、総売上高は3,064百万円となり前年同期(3,723百万円)に比べ658百万円(17.7%)の大幅な減収となりました。また、輸出比率は42.1%(前年同期55.6%)となりました。

損益面では、為替の円高による影響はありましたが、固定費削減及び製造原価改善などコストダウンに努めたことにより、営業利益は193百万円(前年同期52百万円)、経常利益は132百万円(前年同期52百万円)となりました。

また、特別損失として計上した投資有価証券評価損(洗替え方式)が前年同期に比べ300百万円減少したこと等により、四半期純利益は79百万円と前年同期の四半期純損失322百万円から大幅な増益となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ666百万円減少の10,322百万円となりました。これは主に、商品及び製品が168百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が427百万円、現金及び預金が310百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ673百万円減少の5,186百万円となりました。これは主に、借入金が333百万円、支払手形及び買掛金が210百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ7百万円増加の5,135百万円となり、自己資本比率は49.8%(前事業年度末46.7%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、446百万円の収入となり、前年同期に比べ644百万円の収入の減少となりました。これは主に、前年同期の税引前四半期純損失から税引前四半期純利益に転じたことによる収入の増加がありましたが、たな卸資産が前年同期の減少から増加に転じたことによる支出が増加したこと及び売上債権の減少による収入が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、354百万円の支出となり、前年同期に比べ44百万円の支出の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、388百万円の支出となり、前年同期に比べ332百万円の支出の減少となりました。これは主に、短期借入金の純減少額が300百万円減少したことによるものです。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は689百万円となり、前事業年度末に比べ310百万円減少しました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

国内及び欧米の景気に先行き不透明感がある中で、為替の円高により、今後は一層厳しい経済関係が続くものと予想されます。こうした中で当社は、引き続き生産性の向上、経費節減など製品のさらなるコストダウンに取り組み、業績向上に努めてまいります。

なお、平成23年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、平成22年5月14日の決算発表時に公表いたしました平成23年3月期の予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

#### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	689,235	999,255
受取手形及び売掛金	1,733,128	2,160,690
商品及び製品	2,118,316	1,950,315
仕掛品	199,407	123,359
原材料及び貯蔵品	229,478	264,260
その他	24,866	24,584
貸倒引当金	△5,214	△6,507
流動資産合計	4,989,218	5,515,958
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,102,373	1,146,275
機械及び装置(純額)	1,486,255	1,628,297
土地	1,357,047	1,201,903
その他(純額)	635,918	667,762
有形固定資産合計	4,581,595	4,644,238
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	668,733	763,224
関係会社株式	20,000	0
その他	71,610	106,377
貸倒引当金	△14,164	△46,137
投資その他の資産合計	746,179	823,464
固定資産合計	5,333,592	5,473,521
資産合計	10,322,810	10,989,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,714	1,128,488
短期借入金	450,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	918,396	859,396
未払法人税等	11,981	15,377
賞与引当金	82,558	96,174
その他	438,631	554,182
流動負債合計	2,819,282	3,403,618
固定負債		
長期借入金	2,062,507	2,155,405
退職給付引当金	170,126	135,415
その他	135,005	166,318
固定負債合計	2,367,638	2,457,139
負債合計	5,186,920	5,860,758

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	601,141	576,018
自己株式	△4,397	△4,338
株主資本合計	5,123,286	5,098,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,603	36,492
繰延ヘッジ損益	—	△5,993
評価・換算差額等合計	12,603	30,498
純資産合計	5,135,889	5,128,721
負債純資産合計	10,322,810	10,989,480

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	3,723,371	3,064,746
売上原価	3,178,838	2,370,344
売上総利益	544,533	694,401
販売費及び一般管理費		
発送運賃	60,896	39,988
従業員給料及び手当	145,710	156,924
賞与引当金繰入額	26,811	23,929
退職給付費用	42,506	43,077
役員退職慰労引当金繰入額	4,834	—
その他	211,757	236,782
販売費及び一般管理費合計	492,516	500,702
営業利益	52,016	193,698
営業外収益		
受取利息	168	41
受取配当金	12,613	14,135
為替差益	27,187	—
補助金収入	10,000	10,000
その他	2,904	2,756
営業外収益合計	52,874	26,933
営業外費用		
支払利息	35,143	28,337
為替差損	—	43,094
その他	17,484	16,420
営業外費用合計	52,628	87,852
経常利益	52,262	132,780
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,344	1,293
特別利益合計	2,344	1,293
特別損失		
固定資産除却損	12,253	9,764
投資有価証券評価損	341,981	41,551
その他	19,999	—
特別損失合計	374,234	51,316
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△319,626	82,756
法人税、住民税及び事業税	3,698	3,698
法人税等調整額	△941	△876
法人税等合計	2,757	2,821
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△322,384	79,934



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△319,626	82,756
減価償却費	404,033	353,278
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,454	△1,293
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,616	△13,615
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,652	34,710
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,834	—
受取利息及び受取配当金	△12,782	△14,176
補助金収入	△10,000	△10,000
支払利息	35,143	28,337
為替差損益 (△は益)	△6,447	12,992
投資有価証券評価損益 (△は益)	341,981	41,551
固定資産除却損	12,253	9,764
売上債権の増減額 (△は増加)	771,412	427,562
たな卸資産の増減額 (△は増加)	259,878	△209,267
仕入債務の増減額 (△は減少)	△476,397	△210,774
その他	△13,700	△73,981
小計	1,011,396	457,846
利息及び配当金の受取額	12,794	14,171
補助金の受取額	110,000	10,000
利息の支払額	△36,335	△28,424
法人税等の支払額	△7,397	△7,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,090,458	446,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△300,803	△335,502
投資有価証券の取得による支出	△14,242	△11
関係会社株式の取得による支出	—	△20,000
その他	4,533	654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,512	△354,859
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	△300,000
長期借入れによる収入	300,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△366,500	△433,898
配当金の支払額	△54,393	△54,407
その他	△231	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△721,124	△388,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,447	△12,992
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	65,268	△310,020
現金及び現金同等物の期首残高	578,352	999,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	643,621	689,235

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (生産、受注及び販売の状況)

当社は、単一セグメントであるため、製品の種類別ごとの生産、受注及び販売の状況を記載しております。

## ① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
医薬中間物	832,074	24.6	419,726	14.0
農薬中間物	2,087,011	61.8	2,065,762	69.1
機能性中間物	247,200	7.3	237,988	8.0
界面活性剤	200,347	5.9	224,754	7.5
その他	14,318	0.4	41,531	1.4
合 計	3,380,952	100.0	2,989,763	100.0

## ② 受注状況

当社は受注見込による生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
医薬中間物	1,115,989	30.0	460,937	15.1
農薬中間物	1,960,685	52.7	1,784,952	58.3
機能性中間物	371,262	10.0	512,836	16.7
界面活性剤	206,401	5.5	227,830	7.4
その他	69,032	1.8	78,189	2.5
合 計	3,723,371	100.0	3,064,746	100.0